



壁スイッチ仕様・電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
● 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
● 注意：人が傷害を負う可能性および物の損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
● アースを確実に取り付けること

- 警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造をしないでください。
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
● レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラスタなど）と接触しないようにすること
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の出入口（給気口）により十分給気される配座をすること
● 配座が室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

- 注意
● 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実に行うこと
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 本製品は約45kgの重さがあるため、作業は2人以上で行うこと
● 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと

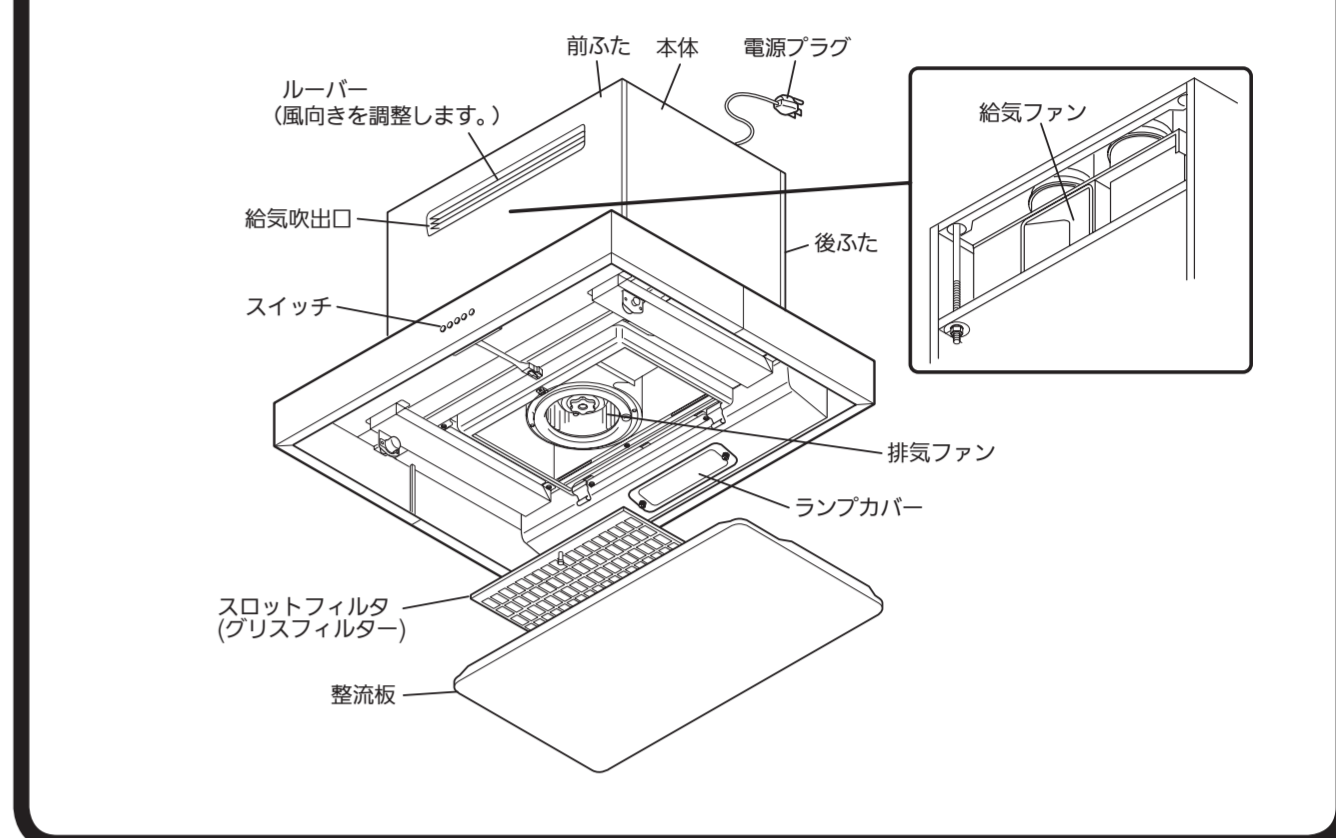
取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
● 大工事【設置のための地下工事】
● 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続】
● 管工事【ダクト配管およびレンジフードファンからのダクト接続等】
● 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h時50Pa程度のものでご使用ください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいかに低下させたり、騒音が大きくなりますのでご使用しないでください。
● 製品は調理器具の真上に取り付けてください。
● 必ず調理器具の後ろ側にパネルを立ててください。
● レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。
● 電源は専用のコンセントおよびブレーカを付けてください。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
● 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。
● 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気出入口を開けてください。
● 同時給排モデルのレンジフードファンをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。
● 寒い地域ではダクトが結露し体内に結露水が流れる場合がありますので、排気ダクト・給気ダクトには断熱材を巻くなどの対応をしてください。

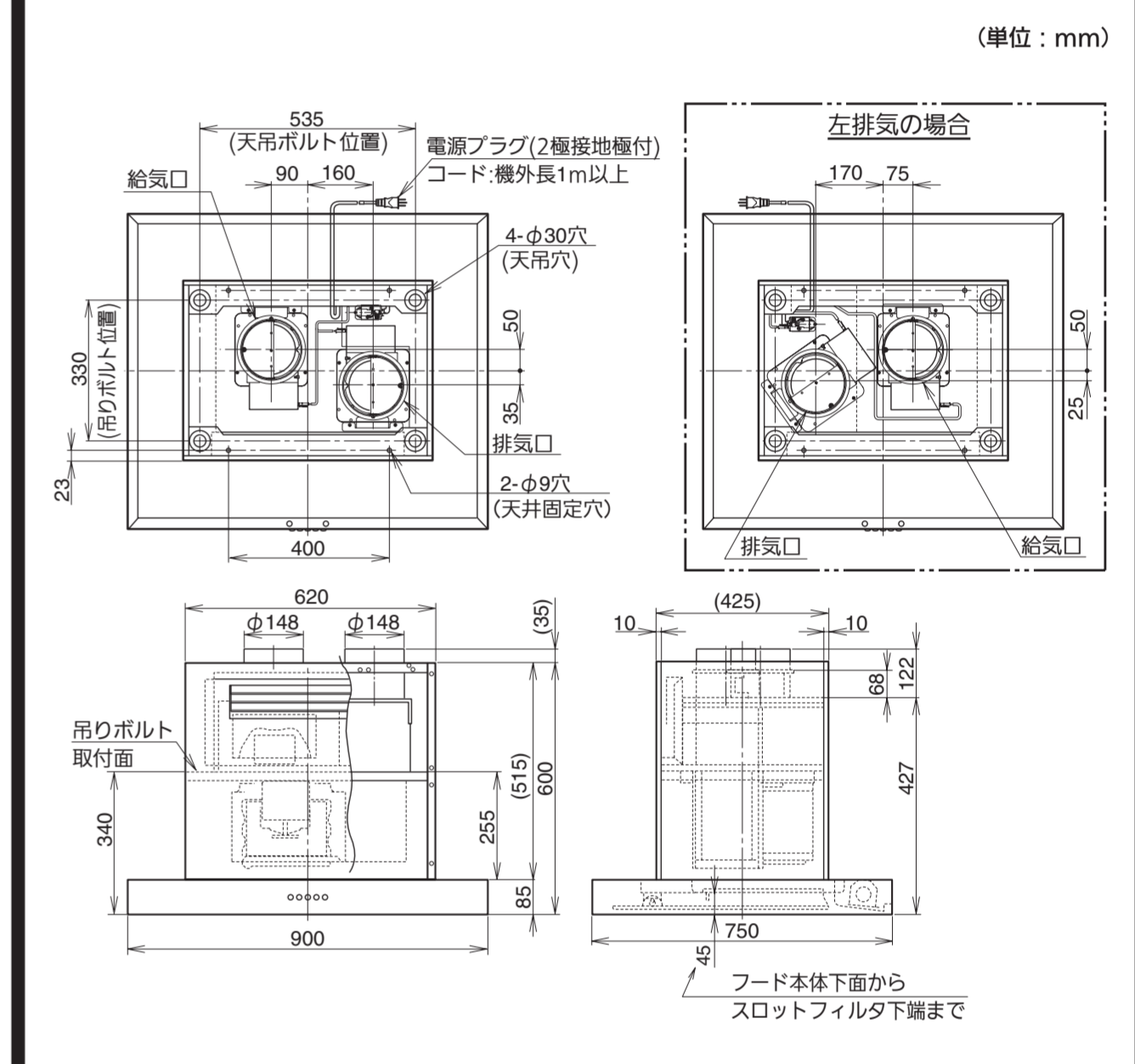
取り付け前の調査と準備

注意
取付位置の強度確認
製品を支える強さが必要です。
製品質量 45.0kg
1 天井面の穴あけ (取付詳細図-1)
2 吊りボルトの取り付け (取付詳細図-2)
3 排気ダクトの取り出し (取付詳細図-2)
4 電源コンセント・ブレーカ
取付位置の強度確認
製品を支える強さが必要です。
製品質量 45.0kg
1 天井面の穴あけ (取付詳細図-1)
2 吊りボルトの取り付け (取付詳細図-2)
3 排気ダクトの取り出し (取付詳細図-2)
4 電源コンセント・ブレーカ

各部の名称



製品寸法図



- 付属品
● トラスねじ (M4 x 10) (6本)
● トラスねじ (M5 x 12) (5本)
● トラストッピンねじ (φ4 x 30) (2本)
● SPワッシャー (M10用) (8個)
● ワッシャー (外径φ18, 内径φ5.2) (2個)
● ワッシャー (外径φ45, 内径φ10.2) (2個)
● Uワッシャー (4個)
● ソフトテープ (2個)
● フード引掛け金具 (1個)
● 引掛け棒 (2個)

取り付けかた

1. 本体の準備
注意
● 製品の取り付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 製品の切り口や角でけがをすることがあります。
1 付属品を準備します。
2 4本の吊りボルトに図1-1の要領で、六角ナット (取付作業側手配)・ワッシャー・スプリングワッシャーをセットしてください。
3 本体前後のふたをはずします。
4 給気口・排気口にソフトテープを貼り付けます。

2 吊りボルトに固定します。
3 本体を天井面に固定します。
4 接続部をテーピングします。
5 排気口設置面の漏れ確認のお願
6 コネクタを接続します。

4 フードを右へ寄せます。
5 フードと本体を固定します。
6 コネクタを接続します。
7 本体を右へ寄せます。

5. 組み立て
注意
● 部品の取り付けは確実にすること
● 落下によりけがをすることがあります。
1 本体前後のふたを取り付けます。
2 スロットフィルタと整流板を取り付けます。

2. 本体の取り付け
注意
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 部品の取り付けは確実にすること
● 本製品は約45kgの重さがあるため、作業は2人以上で行うこと
1 本体を吊りボルトに差し込みます。
お願
● 給気ファンの吹出口が見える面がフードのスイッチ側 (前面) となりますので、向きを確認して取り付けください。

3. フードの取り付け
作業する際は、製品や床などを傷つけないように行ってください。
※ フード天井のテープは「6. 試運転」終了後に取りのぞいてください。
1 整流板とスロットフィルタをはずします。
2 フード引掛け金具と引掛け棒を取り付けます。
3 本体にフードを取り付けます。

4. 電気配線
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること
1 コンセントは、JIS C 8303 2極接地型差込接続器 15A 125V をご使用ください。
2 必ずアース (D 接地工事) をしてください。
3 電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカを「入」にします。

6. 試運転
注意
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
● 各部作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
● 正常に動作しない場合は、本書「取り付けかた」図3-6をご覧ください。
● 運転時、各連動の排気・給気が正しく行われていることを確認してください。
● 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
● 前面のルーバーから給気されていることを確認してください。
● 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
● 取り付けまたは施工上有り発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。